

おいしい干し芋づくりに向けた有望系統の選定

農林センター

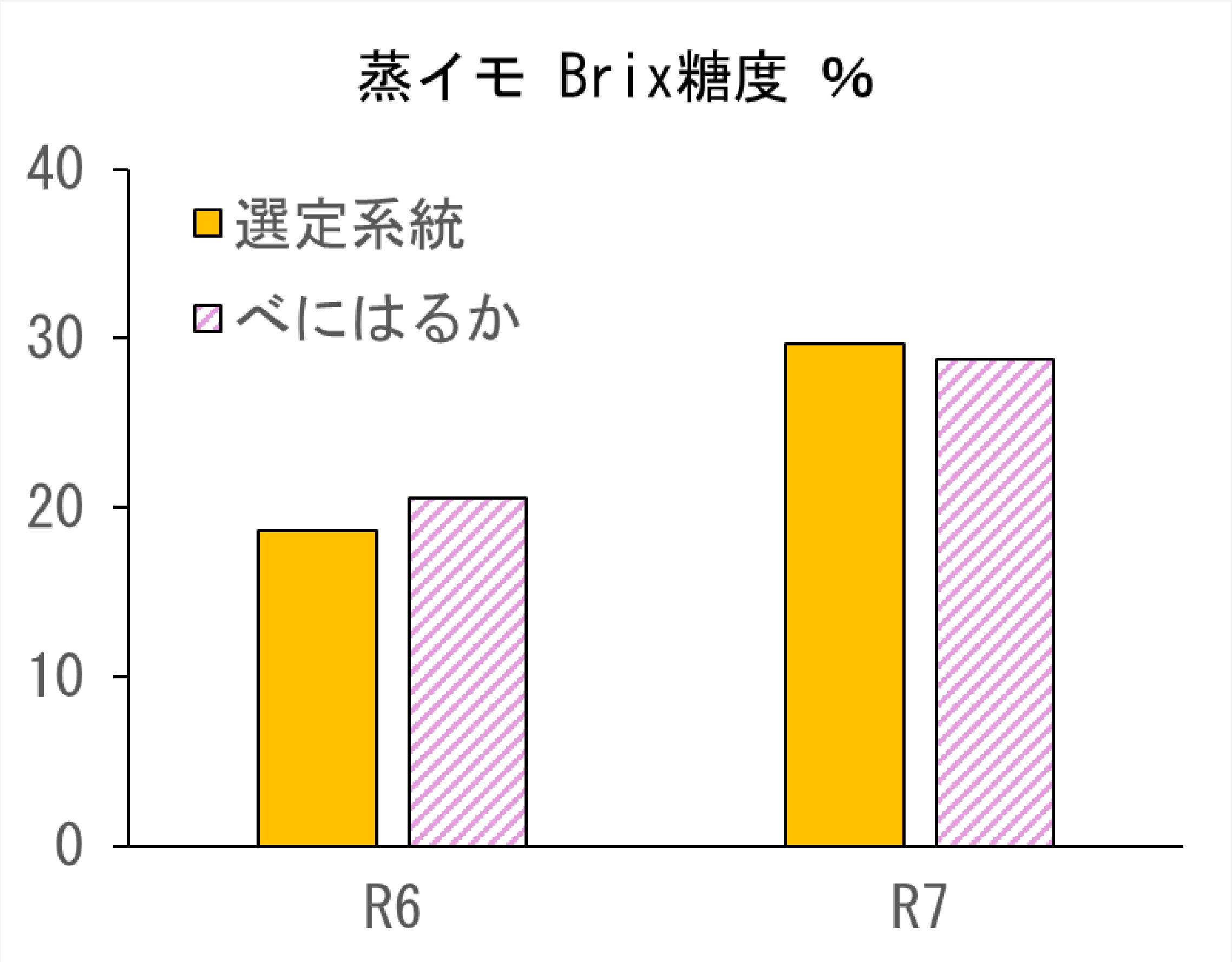
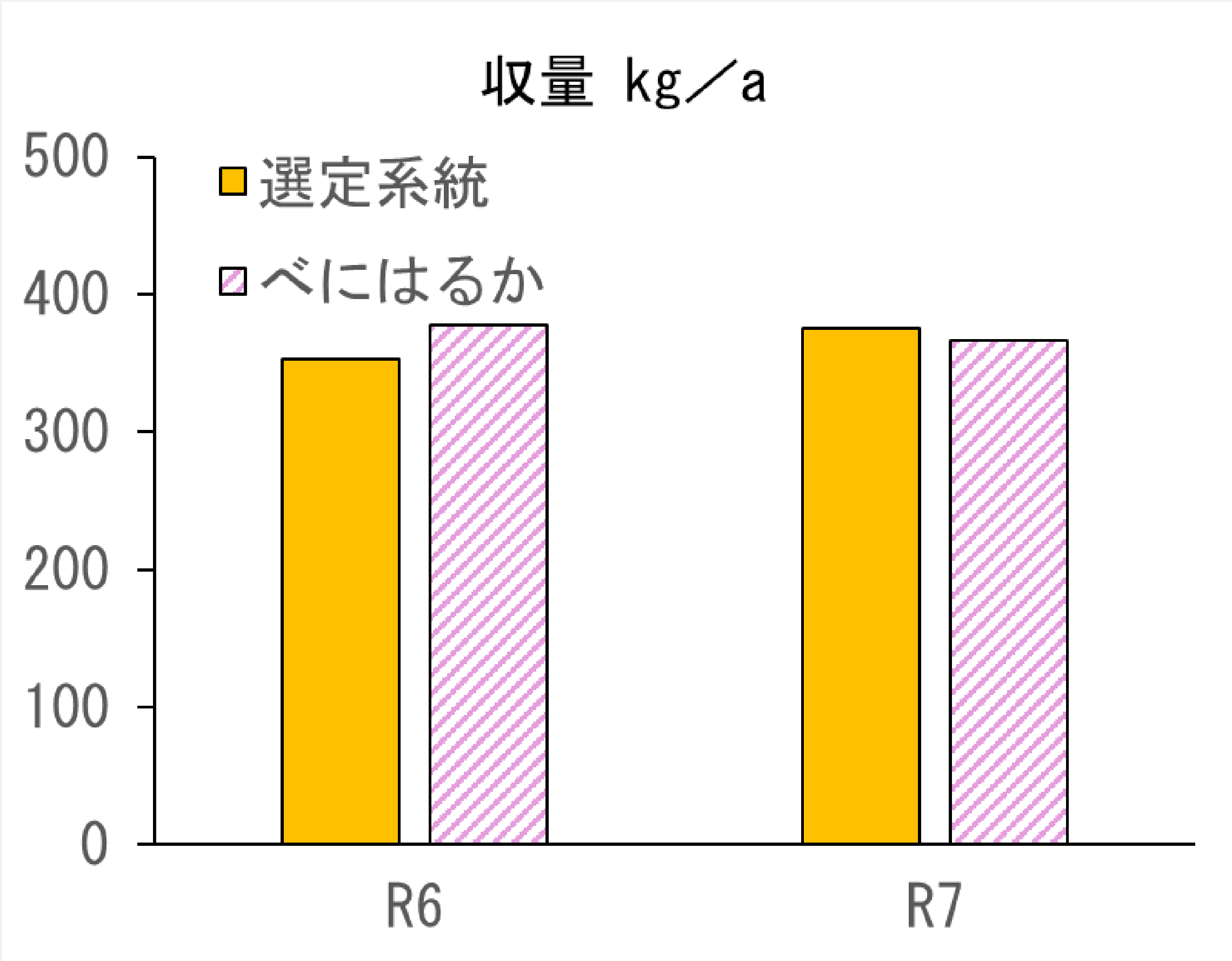
問い合わせ先: 丹後農業研究所 0772-65-2401

主な成果

- 「べにはるか」と**同等の収量・糖度**を持ち、**基腐病抵抗性**も備えた系統を選定しました。
- 食味試験で**高く**評価され、干し芋加工に適した系統であることを確認しました。
- 「べにはるか」では夏期の**水管理**が**品質と糖度の向上**に重要であることを明らかにしました。

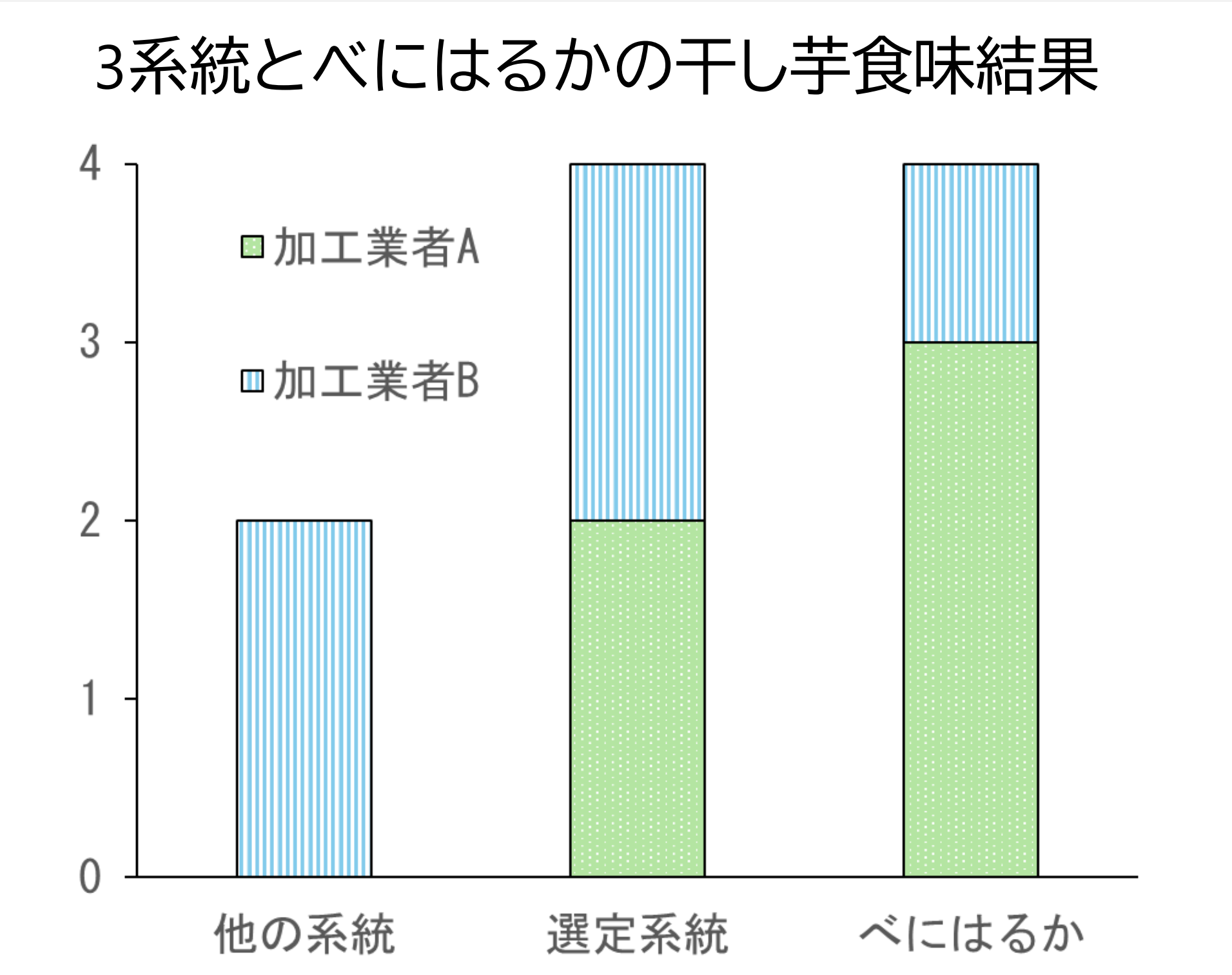
成果の内容

- 慣行「べにはるか」と同等の収量と糖度

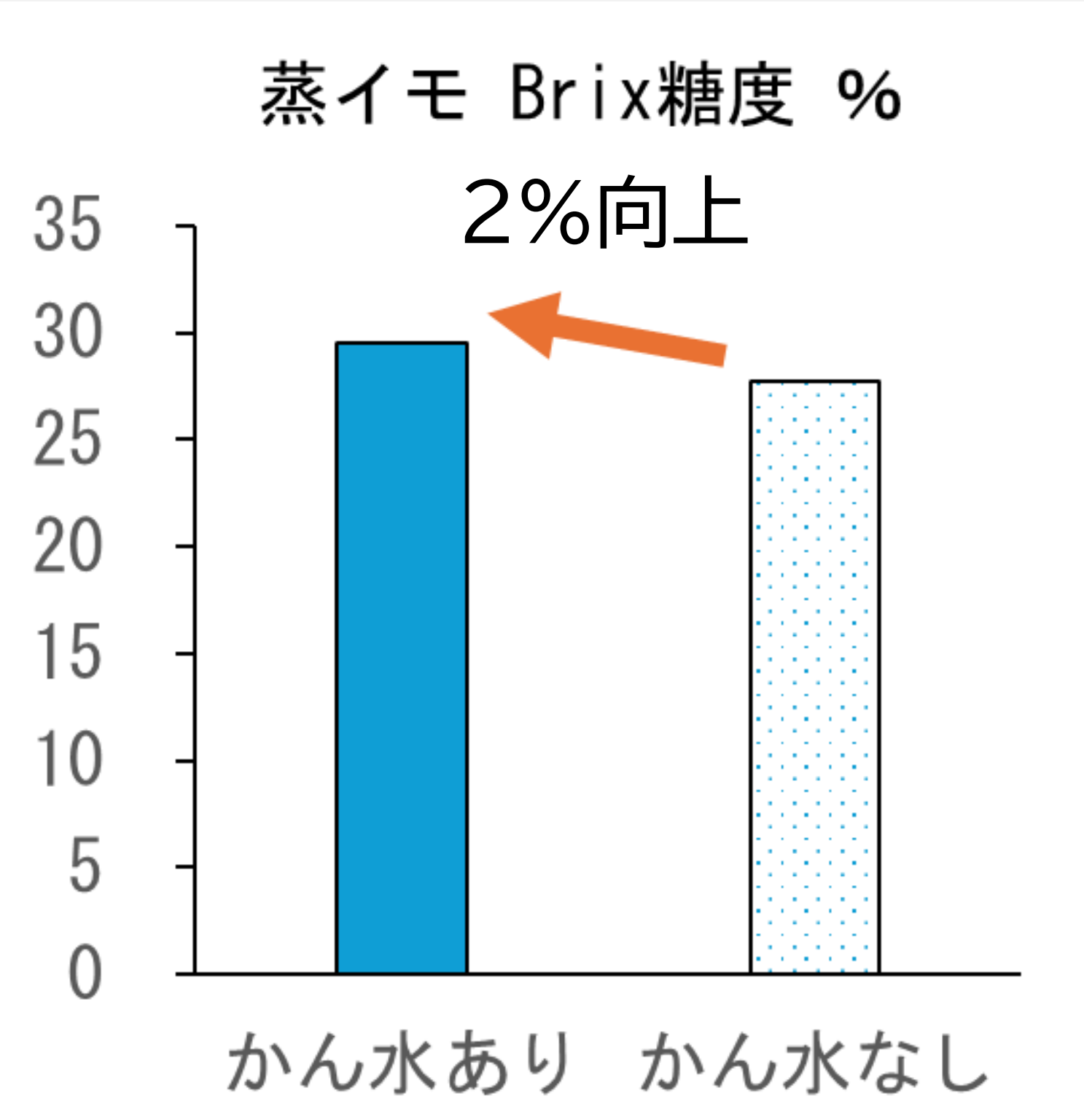
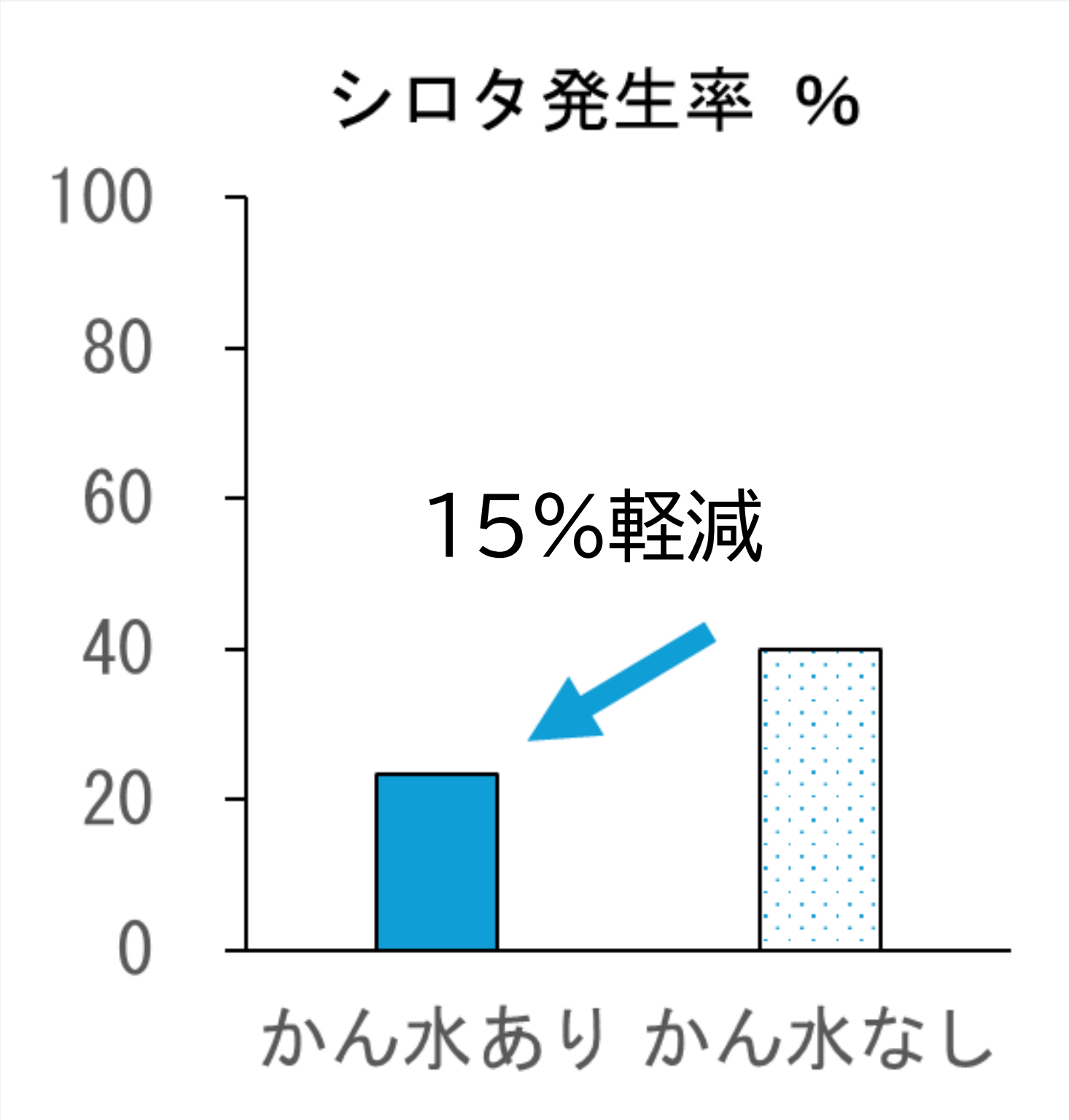


- 食味試験で高評価

- 「べにはるか」では8月上旬のかん水によりシロタ※軽減、糖度向上



n=10, 加工業者2社の職員



※土壌の乾燥により発生する生理障害

期待される波及効果

- 有望系統の導入により、原料の安定生産と干し芋食味向上が期待されます。
- 栽培技術の普及により、干し芋品質が約15%、糖度が約2%向上します。